

太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2023. 7

小さなこだわりを捨て 大きなこだわりを持つ



皆さん、もうお気づきですか？

相談室に6月から突如現れた、スカイブルーの謎の椅子。

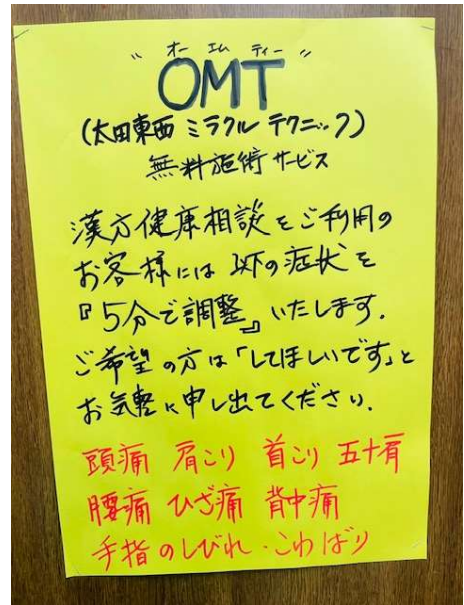
その正体は、介護用の椅子ではなく「施術用」。

この太田東西かわら版やブログなどで、これまでお知らせして来ましたが健康を失った昨年の経験をきっかけに、私は施術家になりました。

施術の技法、名付けて<OMT（太田東西ミラクルテクニック）>！！

お客様の悩み・苦しみを、さらに解消して差し上げるために。

施術台は相談機のすぐ隣にあり、
OMT 案内の張り紙には👉👉👉



漢方健康相談のお客様には、“無料で” お体を調整して差し上げます！
すでに 30 名近いお客様が<OMT>、体験されています。
背中、腰、肩、腕、首、特に「足裏の調整」に力を入れています。



足裏は体を支える重要な面。
足裏を柔らかく、アーチを作って
しっかり踏ん張れる足に調整。
腰痛・ひざ痛も、足裏から。
転倒・寝たきり予防にも効果大！

「整骨院・鍼・整体に行っても治らなかったのが、調子良くなりました！😊」
数分間で驚きの効果が出したりして、お客様と私の間で、今までになかった
「新しい喜び」が生まれています。

今更ですが・・・私は薬剤師であり、漢方だけではなく病院の薬（化学薬品）も含めて周知している“薬のプロ”です。

薬の中でも、漢方薬の効き目の魅力に惹かれて、漢方に「こだわり」を持って漢方薬局を営んで来て今年で26年。

漢方にこだわって、漢方での健康回復にこだわってその結果、既成の漢方処方では満足できずにととう自分で創り上げた漢方食品が

<麻亜耶><アシュール><雲消霧散>👉



そしてそのこだわりは、これからも・・・・・・・・・・
と言いたいところですが、漢方へのこだわりは終了。

「一つのことにこだわっているのは、もはや太刀打ちできない時代」
自らの健康回復の体験を含めて、そう実感していますので。

ところで薬局のお客様は、どうして「太田東西薬局に行ってみよう」と思っ
てくださったのですか？ もちろんその時、体調が良くなかったからでしょうが
きっとその時、健康回復の手段が「漢方」で無くてよかったのでは？

「太田東西薬局の漢方で良くなった」。そうご家族やお知り合いの方の声を
耳にして、紹介されて「自分も行ってみよう」と思っただけです。
「大の漢方ファンだったから太田東西薬局に来ました」というお客様は
極めて少ないはずで、私もそうしたお客様の相談を受けた経験は記憶にない。

漢方にこだわっていたのではなく、健康回復にこだわっていたはず。
〇〇〇〇という漢方薬で治したい、これとこの漢方の調合薬を飲みたいという
こだわりなど、皆無だったはず。
こだわったのは、健康回復の手段（漢方）ではなく、その「結果」だったはず。

ところで病院に入院した際や新薬を処方された際、どうして病院の薬以外の
薬や健康食品を飲むことを禁じられるのか？ 難色を示されるのか？
考えたこと、ありますか？

それは医師が「その薬にこだわっているから」です。その薬がどれくらいの
効果を出すか？ データが欲しいのです。ゆえに、データに影響する可能性の
ある漢方薬や健康食品などすべて排除したい。データを集積した EBM（科学的
の根拠）に基づいて治療する西洋医学。医師がこだわるのは「EBM」です。

しかしよくよく考えてみると、健康回復を求める患者さんたちの多くはデータのために通院していないはず。
世間の常識に習って、病気になったら病院に行って、そこで検査と診断を受けて、出された薬を疑いもなく飲んでいただけ。
化学薬品の大ファンというよりも、病院や医師の権威を信じて頼りにして治療をお任せしている、結果を丸投げしていると換言できる。

そうした行いにケチをつけるのではありませんが、それでは健康回復の主体は患者本人ではなく、医師主体ということになります。
担当医の腕が予後を決める、患者の将来の明暗を分けることになる。

**自分の体を、自分の命を、ほんとうに「医者任せ」にしているのか？
健康回復を薬に期待する、薬に頼るだけの受け身の姿勢でいいのか？**

医師と患者、双方が「薬で」治す。それにこだわり続け、薬物治療を続ける。
私はここに今の医療の問題点があると考えています。
誤解を恐れずに言えば、治療や薬のデータ・成績が欲しい、EBM 最優先の治療ならば、患者は「人体実験されている」ことになる。

私は漢方で治すことに、全くこだわっていません。
だから<OMT>など、薬剤師らしくない施術も迷うことなく始めだし、そしてそれは何より太田東西薬局ファンのお客様が一番ご存知なはず。
うんざりするほど「考え方・生き方修正」のアドバイス、相談室でされていますよね？(笑) 考え方生き方・環境こそが健康状態に大きく影響しますから。

健康相談を受け、私が一番に精励努力していること、こだわっていることは漢方でいかに治すか？ではなく、**いかに「幸せに導く」か？**です。

体調がイマイチでも、気分良く、機嫌良く生きていっていただくか？
世間の常識やニュースに惑わされることなく、不安・恐れに停滞することなく地に足をしっかりつけて、明るく前向きに生きていっていただくか？

私のこだわりは、漢方の効き目ではなく、「お客様の人生」にある。

あれこれ一つ一つ、小さいことにこだわらず、“大局的に”こだわる。
『看取り士』の資格まで取ったのは、最期の最期まで、あの世に逝ってもお客様に満足感・幸福感を味わってほしいからです。

「あの世に逝ってからも」とか、「こだわり過ぎ」ですか??・・・(^-^;